

2019年3月25日

タイ国立カセサート大学をはじめ4者共同で地盤研究を推進 ～タイ王国でより正確な土質判別法の普及へ～

戸建住宅の地盤調査・建物検査など住宅に関する業務全般を手掛けるジャパンホームシールド株式会社（所在地：東京都墨田区、代表取締役社長：斉藤武司）は、去る2月18日にタイ王国において、当社、日東精工株式会社及びその連結子会社である THAI NITTO SEIKO MACHINERY CO., LTD. (TNM)、カセサート大学(GERD)の4者間で共同研究契約に向けて互いに協力することを示した覚書の調印式を実施しました。



左より TNM 小谷社長、日東精工材木社長、
GERD Peerayuth 工学部長、同スティサック教授、JHS 斉藤社長

本契約を締結した SDS 試験は、スウェーデン式サウンディング試験（以下、SWS 試験）機を利用して高精度※に土の種類を判別できる地盤調査方法です。当社は SDS 試験を軟弱地盤の多いタイ王国をはじめ、地震の多いニュージーランドなどに海外展開を加速させると同時に、大学などの教育機関・研究機関との産学連携にも注力しています。近年は地盤・地質工学の第一人者であるタイ国立カセサート大学のスティサック教授と地盤液状化についての共同研究を進めるなど、より正確な土質判別に向けた研究を進めています。

※ ボーリングによる採取試料から実施した、粒度試験による土質判別（砂・粘性土など）と SDS 試験から統計的に判別した土質との相関は 85%以上の精度を持ちます。

今般、タイ王国での道路や堤防などの地盤調査において SDS 試験が有益であることが実証されています。近い将来の普及を目指すためには、その地域特有の土をより高精度に判別するための調査が必要であり、共同研究契約に向けて互いの協力姿勢に同意し、調印を交わしました。

ジャパンホームシールドでは、今後も優れた技術とサービスの提供を通じて、世界中の人びとの豊かで快適な住生活の未来に貢献します。

本件に関するお問い合わせ先

ジャパンホームシールド株式会社（ <https://www.j-shield.co.jp/> ）

本社：東京都墨田区両国 2-10-14 両国シティコア 17F

報道関係の方から： 広報マーケティング部 児新（コニイ） TEL. 03-5624-1545

<参考資料>

■実施機関 ※代表者名は調印日時点

①カセサート大学 Geotechnical Engineering Research and Development Center

(性能証明、業界への周知)

所在地：50 Ngam Wong Wan Rd, Ladyaow Chatuchak Bangkok 10900, Thailand

工学部長：Peerayuth Charnsethikul

②THAI NITTO SEIKO MACHINERY CO., LTD. (販売窓口、整備)

所在地：9/158 Moo 5, Phaholyotin Road, Klong 1, Klong Luang, Patumthani 12120, Thailand 代表取締役社長：小谷正彦

③日東精工株式会社 (機械製造、整備、開発)

所在地：京都府綾部市井倉町梅ヶ畑 20 番地 代表取締役社長：材木正己

④ジャパンホームシールド株式会社 (技術開発、解析指導)

所在地：東京都墨田区両国 2-10-14 両国シティコア 17F 代表取締役社長：斉藤武司

■SDS 試験とは

SDS 試験は地盤の土質をより正確に判断し、的確な地盤評価を支援するための試験法です。SDS 試験はトルクなどのパラメータや地形条件、近隣ボーリングデータなどを参考に、土質の推定精度を高めることに成功しました。SDS 試験は特許技術[※]を使用するとともに、一般財団法人ベターリビングの建設技術審査証明も取得しています。



※SDS 試験にかかわる技術・方法は、日東精工株式会社、東京都市大学、当社の共有特許によって保護されています。